

北条高 同窓会だより

北条同窓会
立北条高等学校
愛媛県
2020.2
発行 山本 智紀
印刷 みづほ印刷



同窓会会長 山本 智紀



北条高等学校同窓会会員の皆さまには、ご健勝のこととお慶びを申し上げます。また日頃より本会の活動にご理解とご尽力を賜り、心から感謝と敬意を表する次第です。

平成八（一九九六）年四月、中予地域における県立高等学校唯一の総合学科として学科が改変され、今年度、創立七十二周年を迎えました。平成二十六（二〇一四）年五月、当時の生徒たちが定めた「命輝くために北条高校生の誓い」の実践を通して、「多様性を尊重し、総合学科の強みを最大限に生かした教育活動の中で、未来を創る生徒の育成」を目指し、学校長はじめ教師と生徒が北条地域の一員として、地域社会とともに歩みを進めて来られました。すでにご承知の通り、「総合学科の特徴は、「個性の尊重」「多様な選択科目」であり、校訓「自律 創造

敬愛」の実現。私も約二十年前、本州四国連絡橋・尾道〜今治ルートの上り下り海道が開通した平成十一（一九九九）年からの三年間、かけがえない時間を過ごしました。当時のクラスは八組まであり、ブレザー第一期生。クラスマッチや体育祭のグループも「鳳・颯・隼」の三グループで各種学校行事において勝敗を競

新時代の今を輝く

校長 森田 桂子



同窓会の皆様におかれましては、ますます御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。皆様には、平素から母校の教育活動に格別の御理

い、男女一緒になつてしのぎを削り、全員が一生懸命に取り組んでいました。

あれから二十二年が経ち、地方の若者たちの東京一極集中が進み、少子高齢化による人口減少の国難の波は、日本全国に重大かつ深刻な課題として押し寄せる世の中となつています。母校におきましてもクラス数の減少や部活動の減少など、後輩を取り巻く環境はますます厳しさを増しているかと推察いたします。そんな山積する課題を前に、同窓生一同がいま一度かけがえない唯一の学び舎である北条高等学校の現状を認識し、母校の持続可能性を全体で考え、実行し見守っていく必要が求められる時代だと考えます。

どうぞ北条高等学校同窓会会員の皆さまには、引き続きましての本会の活動に対するご理解とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

解と御支援・御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

「新しい時代という名の階段を一步一歩昇つてゆこう。世代の違う人々の力を一つに、恐れず挑戦しよう。今を輝き夢を実現させるためにあふれるアイデアで！」これは、書道部が地元文化の森で開催された福祉大会オープニングで披露した書道パフォーマンスの文言です。令和という新時代を迎えた本年度、本校は創立七十

二年目、平成八年度に総合学科として新たなスタートを切つてから二十四年目を迎えています。総合学科卒業生である山本智紀新会長様からは当時の総合学科に対する期待や学校の様子などをお聞かせいただく機会が何度もあり、たいへんよい刺激をいただいているところです。

二十一世紀生まれの在校生たちは三年次生を中心に今年度も元気に学校を盛り上げてくれました。野球部が全国高校野球選手権愛媛県大会において二十年ぶりに三回戦進出を果たし、数多くの同窓生や地域の皆様方に御支援いただきました。吹奏楽部の記念すべき第二十回定期演奏会では、OB・OGの協力のもと、素晴らしい演奏を披露することができました。彼らは、全国吹奏楽コンクール四国支部大会で今年も見事金賞を受賞しました。インターハイ並びに国民体育大会に出場を果たしたアイチエリー部 柿本銀汰さん、なぎなた部 白地ちよりさん、そして団体での出場はなりませんでしたが、その実力からラグビーU18 西日本代表に選出され主将として東西対抗戦を戦った柿本大智さんの活躍もありました。直近では、先の愛媛マラソンポランティアに、今年度も百五十名を超える生徒がポランティアとして参加し多くを学ばせていただきました。

同窓会の皆様には、令和の新時代を生きる北条高校生たちの挑戦や活躍を、今後もあたたかく見守つてくださいますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、西宮京子様並びに旧役員の皆様には、長きにわたり御尽力いただきました。心より感謝申し上げます。

同窓生からの 便り

前同窓会会長 退任挨拶

感謝と 恩送り

昭和四十三年度卒 西宮 京子



本年度は、平成から令和の元号となり、新たな時代がスタート致しましたが、同窓会の皆様は、如何お過ごしでしょうか。月日の流れは早く、私が同窓会副会長として任につきましたのは創立五十周年記念事業をされた時でございます。まさか私が会長として七十周年の記念日を迎えるとは、その時には、思いもしなかったというのが正直なところですが、気がつけば私も次の若い世代にバトンを渡す立場となつて参りました。会員の皆様や役員の方々、学校の先生方が支えて下さり、なんとか無事に役目を終えることが出来ました事、心より感謝申し上げます。

思い起こせば私にとって年に一度の同窓会総会は、会の議事内容やご報告はさておき、諸先輩方や同窓生と出合い、懐かしい話題や近況報告をお伺いして多くの元気を頂く場であ

りました。皆様とお会いすることが日頃の生きる活力のひとつになっていたように思います。

また、学校に目を転じますと、体育大会や定期演奏会、秋の文化祭等、その年々にたくさんのお思い出があり、後輩の活躍に感動させて頂いた日々が思い出されます。中でも、私が以前に幼稚園教諭として受け持った時の教え子が、えひめ国体等で活躍してくれました事は、特に大きな喜びでございました。

これも皆様とのご縁を頂き、お支え下さった賜物と感じます。

「恩送り」という言葉があります。これは恩を受けた方にお返しするのではなく、次の方へ自分の出来る事を返していくという意味で私の大好きな言葉でございます。そして、北条高校の歴史を一つ一つ育んで下さる事に期待致します。

最後になりましたが、北条高校の今後益々のご発展と同窓会会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。会長退任のご挨拶とさせて頂きます。長い間お世話になり、本当に有難うございました。

INCHON、INCHON

平成十六年度卒 村上 祐太

中学校で部活動をしてなかったのですが、高校から始められる弓道部に入つたのですが、いきなり先生からは「日本一」を目指す！そのつもりでやれ！と。でも、これまでそんな部活を経験したことがなかったので、この人は何を言よんやろ、ぐらいの感じでした。



当時の弓道部

この先生、普段は面白いけれど、こと弓道に関してははかなくなり、怖い！それでも、ほとんど付きっきりで基本を一から丁寧に、丁寧に教えてくれました。先輩は三人だけだったので、私たちも一年の時から試合に出させてもらいました。二年の県総体は惜しいところで二位に終わり、迎えた四国大会。先輩たちと試合ができるのもこれが最後かと少々寂しさもある中で初優勝。この頃になつてやっと先生の言われた通りに頑張つていけば、いい結果に繋がると感じられるようになりました。

「試合には努力や根性じゃなくて、普段の生活習慣が出るんだ」と、食事や睡眠時間までうるさかったけれど、やっているうちに弓道が楽しくなつて、リアルに三六〇日の練習をしました。でも、ピリピリした雰囲気

気ではなく、皆明るくて男女仲もよく、取材に来た新聞記者がびっくりして記事になったぐらいです。

特に勉強になつたのが県外遠征です。先生のツテで何度も全国優勝を経験している学校と試合したり、その日本一の監督に指導してもらつたり。普通の高校生活では経験できない貴重な経験をたくさんさせてもらいました。

西日本大会に優勝し、最後の県総体ではアベック優勝。春夏連続全国大会出場。残るは全国総体優勝のみ！という意気込みで臨んだ鳥取インターハイ：しかし、現実には厳しい：夢は果たせぬまま、弓道生活を終えることになりました。

振り返ってみますと、最後まで諦めずにこつこつ頑張つたということそのものが財産でした。今でも親しく付き合っている仲間や先生との出逢い、良きライバル松山工業の存在：たとえ満足のいく結果が残せなくても、頑張つたことは必ず何かを残してくれます。負けた時がスタート。たまたま出た結果なんか、なんにもなりません。辞めたいときもありません。でも、結局は、息も抜きながら、こつこつこつこつ頑張るしかないんです。弓道部に入つてなかったら、この出逢いがなかったら、今の自分

はなかったと思います。

今は道後の宝荘ホテルグループ「道後御湯」でサービスマネージャーとして働いています。宿泊その他、ご利用の際にはぜひご用命くださいませ。

大したことはないけれど

平成十九年度卒 白石 理奈

早いもので、私が高校を卒業してからもう十年以上の月日が流れました。

今は、北条高校のすぐ近くの会社で働いています。出勤時が登校時間とかぶるので、狭い裏道に広がって歩き、なかなかよけてくれない高校生を見ながら、自分らの頃もこういうことでよく叱られていたなあと思いがちです。

そんなある日、私たちが高三の時に転勤されたあの先生とばったり会いました。この四月から帰って来たらんよ。ランチでも食うか？と言われて付いていったのが運のつき。この同窓会便りを書かされる羽目になったというわけです。(笑)

とはいっても、褒められるほど偉くもなく、呼び出されて叱られるほど悪くもなく、できたばかりのテニス部に入ったら、一年間で全員辞めちゃった；勉強も部活動も大して思い出さない高校三年間。そんな私を書いていいんですか？と言ったら、そういうのがいいの。こういうのは何かやった人ばかり書くけど、たいの人は何にもないんだから、そっちの方が一般的や、と妙な励ましを受けたので、開き直って書きました。

総合学科の北条高校では、自分で受けた授業を選ぶことができ、違うクラスの人とも一緒に授業を受けることがよくありました。それで、他のクラスの人も仲良くなり、今でも頻りに会う人は、一度も同じクラスになつたことがない人だったりします。そういう意味では他の高校

より友達の輪が広がったのではないかと思います。

でも、総合学科でもっといろいろなことができるんだと思つていましたが、そんなに言うほど普通の学校と変わらなかったような…。

そんな同級生と会った時、必ず話題にあがるのがあの体育の授業です。まるでどこかの国の軍隊！嘆きながら、励ましあいながら、みんなよく頑張ったよ。時々、日本に向けてミサイルを発射しましたなんてニュースを目にすると、高校の体育の思い出がよみがえってきます。というのはオーバーかもしれませんがそれぐらい強烈でした。今となっては笑って話せる思い出です。

こうして振り返ってみますと、こんな自分といつまでも付き合つてくれて、大事にしてもらつて、素のまままでいさせてくれるかけがえのない友達に出会えたことが最大の財産です。これだけは自信をもって言えます。

私たちの頃は八クラスだったのが、今は半分になったそうです。たとえ大したことがなかったとしても、高校時代にしかできないことや出逢えないこと、感じられないことがあります。これから北条高校に通う人たちにとつても、そんな素敵な場所であつてほしいと思います。

あの部活動は、今!

「総音」のそうおん

吹奏楽部部长 青野 有紗

おかげさまで恒例の定期演奏会も二十回を迎え、この夏、松山市民会

館で記念の演奏会を無事終えることができました。ご来場くださった皆様、応援してくださつてい

る皆様、本当にありがとうございます。この場を借りまして改めてお礼申し上げます。そして、OBの方々と一緒に演奏させていただいたことは、とても貴重な経験・勉強になりました。重ねてお礼申し上げます。



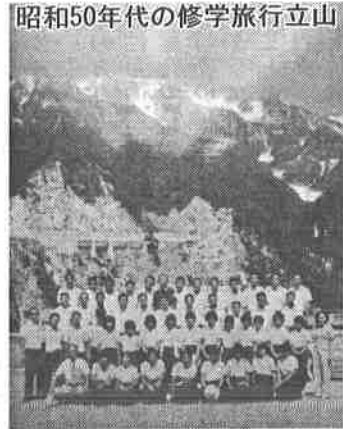
現在の吹奏楽部は、本校十年目になる池田努先生のご指導の下、総勢三十六名で練習に明け暮れています。他の部は部員不足で困っているのにも、ありがたいことです。

部訓「思いやり」のもと(？)、放課後になると走つて総合音楽室(略して総音)に集合します。地域のイベントにも参加し、心に響く演奏を心掛けています。こういう文章を書いてみると、「伝統を受け継いで頑張ります」的な表現をよく目にしますが、先輩たちが在校中の吹奏楽部はどんな雰囲気だったのでしょうか？

うか？
今の「吹部あるある」を一部紹介します。

- 楽器を何かにぶつけてしまうと、自分が「痛ッ！」と叫んでしまう。
- ドラムを担当する人は、授業中でも知らぬ間に足をバコバコさせている。
- リード担当の人は、おしゃぶり昆布みたいに舐めがち。
- 各学年に必ずオタクがひとり以上紛れ込んでいる。
- 愛媛ぞなもしラプソディーの翌日は、首が筋肉痛！
- 化学式のClをクラリネットのこどだと思つてしまう。
- 部長が手拍子などで手を叩いたら、シンとなつてとても恥ずかしい。(指示しているのと勘違いされます)
- コンクール曲を一人で練習していたら、いつの間にか合奏になっている。
- 楽器が上手だとイケメンに見えるてくる&そのことに勘違いする人も…
- 一人でやってみて、と言われた時の緊張感が半端じゃない。
- 運動部から座つて演奏してるから楽だよな、言われるとマジムカツク(笑)
- などなど；私たちの時はこうだったのよとか、あんなこと今でもやってる？というふうなお話が聞けたらとても楽しいと思います。励みにもなります。お暇なときに遠慮なく北条高校や演奏会にお越しください。思い出話など聞かせてください。今後ともよろしく願います。

昭和・平成の修学旅行



昭和50年代の修学旅行立山



平成のころ スキー修学旅行



平成の修学旅行 今や焼失した首里城にて

そして、令和の修学旅行はあの修学旅行の片隅で

二年次 得能菜津子

令和初の修学旅行は…定番の東京でした。都会はとにかく人が多く、急ぎ足だしあわただしいしビルばかりだし、田舎者の私たちにはとにかく疲れます…。でも、それなりに楽しんでできました！

私は吹奏楽部に所属しているのですが、前日まで二日連続の定期演奏会で心身ともに疲れ切つての参加でした。おまけに、当日渋滞に巻き込まれ遅刻一分。指導を受けること五分。おかげさまで旅行中は時間にシビアになれました。野球部の人たちは新人戦シーズンなので、勝てば残って練習！負ければ参加というもつとシビアな現実の中、無事(?)参加できました。ムフフなのか、トホホなのか…?

初日は築地の「すしざんまい」で昼食。美味しくいんだけど、赤みが苦手な私にはウーン&回転寿司とあんまり変わらなかったような…。夜は江戸前天ぷら。昼は寿司で夜は天婦羅！ダイエットの敵ですわよ。

この日はオリンピック会場も見学。来年は世界中のトップアスリートが集います。が、来年の修学旅行はどうなるの?というちよつとした心配も。オリンピック・パラリンピックという言い方が、パラリンピック・オリンピックというように変わったから、平等な社会へ一歩前進だねと、ある先生が言ったとか言わなかったとか。

夜はトキヨーベイに三泊。広い！きれいな豪華！でも、買い物禁止令が…。

二日目はデイズニーシーへ。こういうところは楽しめる人と、そうでない人に分かちやうんですよね。私たちの班も半数は「疲れた〜」「休みた〜い」。楽しんだ私たちはびしょ濡れアトラクションを満喫して美女ビショビショになりました。三日目は自主研修。お決まりの竹



令和初の修学旅行

下通りでは、黒人の客引きが「そのの女神〜Tシャツ買わない」とか言つて握手まで求められたけれど、北条JKはそんなにポオーつと生きてんじゃねえんだよ！

夜は「ライオンキング」見学。吹部の私は素晴らしい演奏に心を奪われ、パフォーマンスをほとんど見てなかったという…俳優さん、ごめんなさい。

四日目、無事帰宅。ところが、帰つた日に何をしていたかあんまり思い出せません。それぐらい楽しかったのかなあ。そして、この思い出を演出してくださった旅行業者の方、バスガイドさん。先生、保護者の皆様。何より二年生のみんな。本当にありがとうございました。

同窓会役員紹介

(令和元年度)

今年度から会長が交替し、新体制がスタートいたしました。ご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

- 会長 山本 智紀
副会長 福井 豊・渡部 成二
渡部 求・細川 理恵
福田 健泰
監事 吉金 文男・芳之内 秀幸
高松 克典
顧問 宮本 吉人・森田 博
西宮 京子

同窓会行事報告

(令和元年度)

①同窓会役員会

令和元年五月十四日(火)
北条高校会議室

平成三十年度行事報告・決算報告がなされ、監査の結果適正に処理されている報告がなされました。

また、役員の方より、入学生が減っている中、新入生が四クラスになってよかった(昨年度入学生は三クラス)。運動部が活発なることを期待するとの言葉をいただきました。

②同窓会総会・懇親会

令和元年七月五日(金)
リジニール松山J.A



役員会での議事に加え、役員改選、令和元年度の事業計画、予算が審議され承認されました。

懇親会は、昨年度はホテルサンルートで行いましたが、豪雨災害と重なったこともあり、集まりがよくなかったので、場所を変えて行いました。しかし、四、五年前には五十名ぐらいの参加者であったのが、昨年も今年も三十名ほどという、いささか淋しい状況です。同窓会総会・懇親会の案内は愛媛新聞の折り込み広告として、旧北条地区に配布させていただきます。また、ポスターを北条駅、ハトマート、フジ夏目店等のほかに、松山市内にも可能な場所に掲示させていただいております。来年度も、引き続きほぼ同様の形で案内をする予定ですので、万障お繰

躍進

(在校生の活躍)

諸活動の主な成績

〔部活動〕

◎アーチエリー

◎令和元年度全国高等学校総合体育大会
男子個人 出場

◎第74回国民体育大会
少年男子団体 11位

◎なぎなた
◎令和元年度全国高等学校総合体育大会
個人試合 出場

◎第74回国民体育大会
少年女子団体 7位

◎レスリング
◎第74回四国高等学校レスリング選手権大会
個人試合 80 kg級 第2位

り合わせの上、参加いただき、旧交を温める場所となし、母校の近況報告等に耳を傾けながら、同窓会の発展にご協力いただければ幸いに存じます。
◎同窓会だより第四十一号発行
令和二年二月二十七日(木)
◎同窓会入会式
令和二年二月二十七日(木)
北条高校体育館
入会記念品として卒業証書ホルダーを贈呈

主な進路先(内定状況)

(令和二年一月三十一日現在)

〔進学〕

- 松山大学 5
聖カタリナ大学 3
聖カタリナ短大 7
東雲短大 1
河原学園 12
愛媛県美容専門学校 4
愛媛調理製菓専門学校 3
農業大学校 2
他 2

〔就職〕

- 今治造船(株) 2
(株)フジ 2
自衛隊 3
他 3

〔小計〕

- 短大 23
専門学校 10
就職 35
他 41

- ◎全国高校生グレコローマンスタイル選手権大会
個人試合 80 kg級 出場
個人試合 65 kg級 出場
◎吹奏楽部
◎第67回全日本吹奏楽コンクール四国支部大会 金賞
◎第33回愛媛県高等学校総合文化祭吹奏楽部門 優秀賞
〔検定その他〕
◎全国珠算・電卓実務検定試験
一級 7名
一級(普通計算) 17名
一級(ビジネス計算) 1名
◎平成30年度生徒体験発表四国地区大会 優秀賞

〈本年度の学校行事〉 平成から令和へ

生徒会長 出海 凜人

初めまして。生徒会長の二年次生の出海と申します。

平成から令和へと変わった節目の年にこのような大役を任せられ、十五名の生徒会役員一同及ばずながら北条高校のために頑張っています。今日は、令和元年度の行事報告方々、令和の北条高校の様子を少しばかりお知らせします。

四月十九日 遠足



二年次遠足 坊ちゃん劇場

一年次は鹿島、三年次はとべ動物園。私たち二年次は坊ちゃん劇場で「瀬戸内工進曲」を観劇しました。県内外の他校生も来ていました。想像以上にレベルが高く楽しめました。こういう素晴らしいものが愛媛にあるのにそれほど知られていないのが

残念です。もっとアピールする方法はないものでしょうか。

九月五日 体育大会



体育大会 民謡

生徒数の減少に伴い今回は二つのグループ対抗の運動会でした。たった二つで盛り上がるのかなあと不安もありましたが、いざやってみるとハイテンションな一日でした。でも、改善すべき点も多いと思います。一人の出る種目が多く、特定の人に負担がかかる。クラス対抗リレーは、いつそのことクラス全員のリレーにする。借り物競争はマイクを使ってネタを増やして盛り上げる等、生徒数が減った現状に合わせたやり方があると思います。

十一月一日 文化祭

らくさぶろう氏の講演で幕を開け、さすが芸人！の絶妙なボケで盛り上



文化祭 らくさぶろう氏講演



文化祭 パザール風景

げてくれました。クラスや部活動等の出し物もクオリティが高く、と言いたいところですが、総合学科の北条高校の個性はこれだ！というようなパンチに欠けているように感じます。個人的には、一般開放して、地域の方、OBやPTAの方とも一体となって作り上げる文化祭にできれ

ばいいなあと願っています。これらの行事のほかに、挨拶日本一を目指して校門やその周辺で「あいさつ運動」をしたり、野球応援、愛媛マラソンのボランティアに参加したり、海岸や周辺の奉仕活動をしていっています。



あいさつ運動

総合研究の発表会は今年度も聖カタリナ大学をお借りして行いました。しかし、様々な問題も抱えているのが現実です。例えば一年生全員入部制のわりには、団体が組めない部活動が増えていきます。総合学科としての魅力って何でしょうか？北条高校の発展のために、何をすればいいのでしょうか？

平成から令和へと新しい時代が、というフレーズをよく耳にします。具体的に何ができるか、何ができないかを考えなければいけません。これからも生徒会役員全員で協力し合って、より良い北条高校を目指して頑張ります。ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。